

氷川町の財政事情を公表します

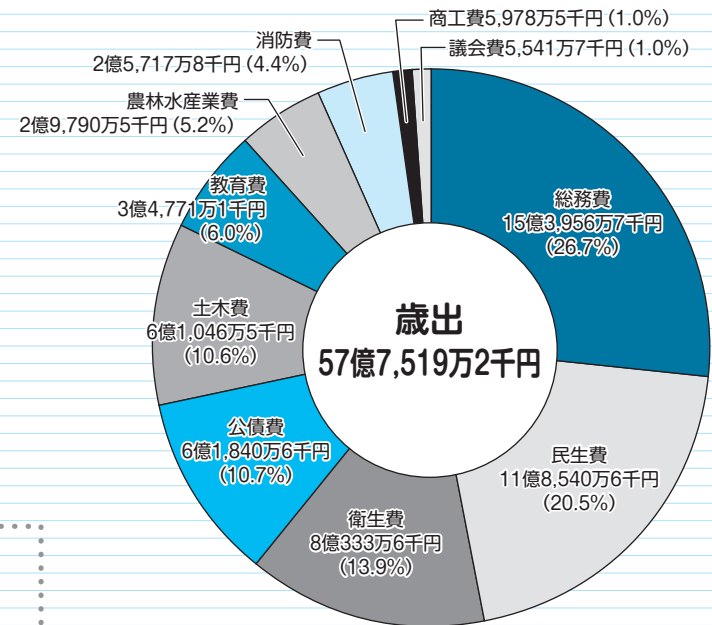
～平成22年度決算と平成23年度上半期の状況～

歳出

歳出の中で最も大きい費目は、総務費の26.7%で、これは全職員の人件費、全体的な事務・管理、竜北公園整備、交通安全対策、選挙、徴税、戸籍住民基本台帳、統計調査、電子計算機器の運営費などに使われました。

次は20.5%を占める民生費で、老人福祉、障害者福祉、児童福祉などに使われました。その他、各種健診の実施、農林水産業の振興、商工業の振興、道路維持および改良、消防、学校教育や社会教育、借入金の返済などに使われました。

平成22年度決算の状況および平成23年度皆さんから納めていただいた税金などのお



※その他1万6千円は端数処理の関係でグラフ上では表示されません。

23年度当初予算については、5月号で紹介しましたが、9月末の時点で、東日本大震災被災地支援経費、農業振興費、土木費、教育費を中心に1億1,361万2千円の補正を行っています。

その主な内容としましては、宮城県東松島市への人的支援職員8名の派遣経費、消防団員公務災害補償に係る負担金、園芸産地育成事業費、地区要望等に伴う町道維持修繕費、道路改良費、竜北小低学年棟改修事業費などを予算化しました。

歳出

(現年度分) (単位：千円)

款	区分	予算現額 (A)		支出済額 (B)	執行率% (B)/(A)
		金額	構成比%		
1.	議会費	76,903	1.3	43,365	56.4
2.	総務費	1,262,089	22.7	563,808	44.7
3.	民生費	1,263,637	22.7	413,784	32.7
4.	衛生費	857,468	15.4	321,638	37.5
5.	農林水産業費	249,402	4.5	31,135	12.5
6.	商工費	60,057	1.1	35,770	59.6
7.	土木費	647,960	11.7	14,338	2.2
8.	消防費	272,072	4.9	140,902	51.8
9.	教育費	279,255	5.0	109,296	39.1
10.	災害復旧費	28	0.0	9	32.1
11.	公債費	583,555	10.5	288,434	49.4
12.	予備費	3,000	0.2	0	0.0
歳出合計		5,555,426	100.0	1,962,479	35.3

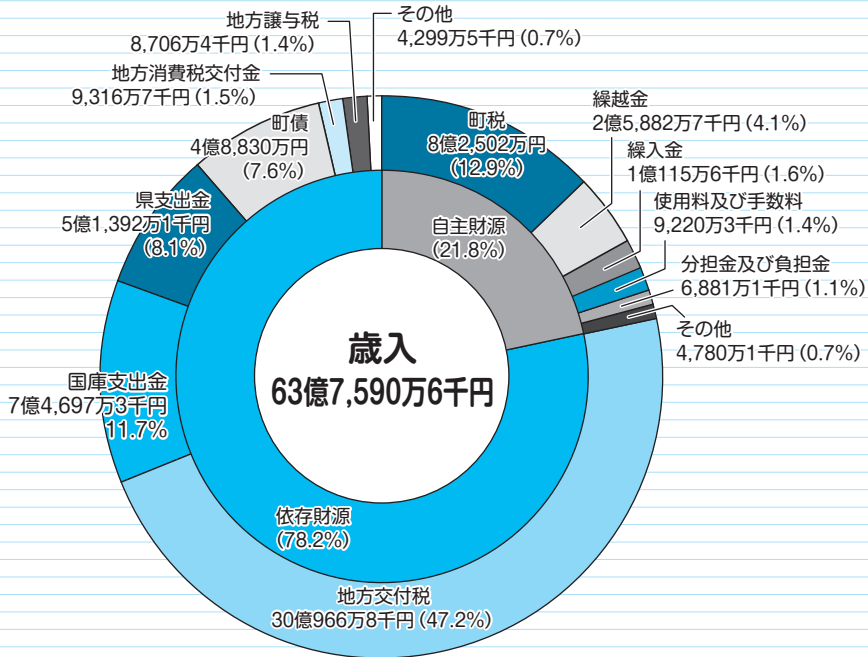
(繰越明許分)

款	区分	予算現額 (A)		支出済額 (B)	執行率% (B)/(A)
		金額	構成比%		
1.	総務費	12,082	2.4	371	3.1
2.	民生費	30,510	5.9	11,949	39.2
3.	農林水産費	10,680	2.1	1,223	11.5
4.	商工費	9,276	1.8	6,813	73.4
5.	土木費	116,481	22.6	34,191	29.4
6.	教育費	335,557	65.2	109,583	32.7
歳出合計		514,586	100.0	164,130	31.9

平成23年9月30日現在

平成23年9月30日現在

上半期の執行状況の概要をご紹介します。金がどのように使われているのでしょうか。



歳入

歳入は、町税や繰越金、特定の工事に対する負担金や保育料、住宅使用料といった自主的に収入できる自主財源と、地方交付税や国・県からの補助金のような依存財源があります。

平成22年度一般会計歳入総額は63億7,590万6千円で、主なものとしては、地方交付税が30億966万8千円で全体の47.2%を占めています。次いで町税、国庫支出金と続いています。

歳入の8割弱を占める依存財源をみると、地域活性化基金事業により県支出金や地方再生対策などにより地方交付税が増加していますが、国の動向に左右される依存財源に頼らざるを得ない厳しい財政状況とも言えます。

平成23年度上半期における予算執行状況 ～9月までの補正予算の概要～

歳入

(現年度分) (単位：千円)

款	区分	予算現額 (A)		収入済額 (B)	収入率% (B)/(A)
		金額	構成比%		
1.	町税	804,650	14.5	461,344	57.3
2.	地方譲与税	83,000	1.5	22,431	27.0
3.	利子割交付金	3,000	0.0	1,042	34.7
4.	配当割交付金	500	0.0	428	85.6
5.	株式等譲渡所得割交付金	100	0.0	0	0.0
6.	地方消費税交付金	85,000	1.5	52,388	61.6
7.	自動車取得税交付金	15,000	0.3	3,043	20.3
8.	地方特例交付金	10,000	0.2	14,359	143.6
9.	地方交付税	2,670,281	48.1	2,171,734	81.3
10.	交通安全対策特別交付金	2,000	0.0	0	0.0
11.	分担金及び負担金	65,327	1.2	29,991	45.9
12.	使用料及び手数料	87,065	1.6	43,668	50.2
13.	国庫支出金	600,132	10.8	164,071	27.3
14.	県支出金	510,730	9.2	40,717	8.0
15.	財産収入	6,370	0.1	4,136	64.9
16.	寄附金	200	0.0	5	2.5
17.	繰入金	65,799	1.2	0	0.0
18.	繰越金	85,373	1.5	191,459	224.3
19.	諸収入	85,455	1.5	12,858	15.0
20.	町債	375,444	6.8	0	0.0
歳入合計		5,555,426	100.0	3,213,674	57.8

(繰越明許分)

款	区分	予算現額 (A)		収入済額 (B)	収入率% (B)/(A)
		金額	構成比%		
1.	国庫支出金	190,831	37.1	0	0.0
2.	繰越金	79,255	15.4	79,255	100.0
3.	町債	244,500	47.5	0	0.0
歳入合計		514,586	100.0	79,255	15.4

平成23年9月30日現在

町民の税負担状況

(人口:13,010人)

税目	調定済額 (過年度分除く)	町民一人当たりの負担額
町民税	346,648千円	26,645円
固定資産税	388,524千円	29,864円
その他の税	71,235千円	5,475円
合計	806,407千円	61,984円

平成23年9月30日現在

町有財産の状況

区分	数量
土地	500,059.25㎡
建物	60,742.20㎡
杉	3,729本
松	3,727本
自動車等	65台
出資金・有価証券	160,388千円
貸付金等	94,191千円

平成23年3月31日現在

詳しい資料につきましては、総務財政課にありますので閲覧を希望される方はお申し出ください。

お問い合わせ先
氷川町役場 総務財政課 財政係
☎52-7111

一般会計と特別会計

会計の種類には、一般会計と特別会計があり、一般会計が町の基本的な経費が中心となっているのに対し、特別会計は特定の事業に対して特定の歳入を充てるもので、[表1]のように6種類の会計があります。

[表1] (単位:千円)

会計の種類	歳入	歳出	差引
国民健康保険	1,908,726	1,816,733	91,993
老人保健	44,439	44,439	0
介護保険	1,120,454	1,047,854	72,600
下水道事業	800,022	789,860	10,162
宅地開発事業	67,460	36,815	30,645
後期高齢者医療	139,553	139,091	462

基金

基金とは、不測の事態への対応や特定の目的のために積み立てられた町の預金であり、[表2]のように一般会計と特別会計を併せて12種類の基金があります。22年度までは、氷川町と八代市で拠出していた圧送放流施設管理基金がありましたが、22年度中に基金を全額取り崩し23年度から負担金制に移行したため残高はありません。

[表2] (単位:千円)

基金の名前	現在高	基金の名前	現在高
財政調整基金	669,426	ふるさと氷川応援基金	1,772
合併振興基金	1,028,485	土地開発基金	11,342
減債基金	50,705	国民健康保険基金	96
地域福祉基金	28,895	介護給付費準備基金	79,094
圧送放流施設維持管理基金	0	介護従事者処遇改善臨時特別基金	5,099
竜北物産館運営基金	40,379	宅地開発基金	11

※土地開発基金については、現金44,774千円・土地66,568千円。